



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社エアークローゼット 上場取引所 東  
 コード番号 9557 URL <https://corp.air-closet.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 天沼 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長 (氏名) 森本 奈央人 TEL 03-6452-8654  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第3四半期の業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	3,874	6.2	△256	-	△265	-	△259	-
2025年6月期第3四半期	3,647	20.6	127	-	116	-	116	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	△31.36	-
2025年6月期第3四半期	14.16	14.08

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	2,733	292	10.3
2025年6月期	2,752	554	19.6

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 282百万円 2025年6月期 540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年6月期	-	0.00	-	-	-
2026年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,155	4.0	△217	-	△252	-	△252	-	△30.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

通期業績予想の修正については、本日（2026年5月15日）公表しました「2026年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：有
  - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	8,284,200株	2025年6月期	8,276,200株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	-株	2025年6月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	8,283,659株	2025年6月期3Q	8,202,710株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年5月15日（金）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期貸借対照表に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

当該物流プラットフォームを活用した都度課金型のサービスで、結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」を2024年11月にスタートしており、2025年10月からは、ドレスのみならず、ブラックフォーマルやアウターなどに対象商品を広げ、「airCloset Spot Rental」として認知拡大に努めています。さらに、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおいて2件受託をしております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

また、サービス利用対象者の拡大を図るべく、2026年3月より、「airCloset」において当社スタイリストがお洋服を選ぶ従来のパーソナルスタイリングのサービスに加え、お客様が自分で選択する「セルフセレクト」をリリース、2026年5月下旬からは男性向けファッションレンタルサービス「airCloset Men's」の開始を予定しています。これらを当社の成長戦略の一環として、従来限定的であったサービスの対象を拡大してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当第3四半期累計期間においては世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては、既存会員様のロイヤルティの高さは変わらず、継続率は順調に推移していますが、新規会員獲得が想定を下回ったことにより、四半期末時点での会員数は前年同時点比で微増にとどまっております。新規会員獲得については、セルフセレクトリリース時において退会済みの会員様の再登録を促すことを優先したことから規模が限定的となったのに加え、会員獲得チャネルの見直しを行っているものの、新規会員獲得につながるまでに時間を要しております。今後セルフセレクト機能を新規の会員様向けに認知を行っていくのに加え、会員獲得構造の変革を引き続き実行してまいります。一方、上述の通り、男性向けサービスの準備など、中長期の成長基盤構築に向けた動きは順調に進捗しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,874,688千円（前年同四半期比6.2%増）、EBITDA（営業利益+レンタル用資産償却費+減価償却費+レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）565,959千円（前年同四半期比27.8%減）、営業損失256,369千円（前年同四半期は127,265千円の営業利益）、経常損失265,524千円（前年同四半期は116,718千円の経常利益）、四半期純損失259,789千円（前年同四半期は116,225千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,292,012千円となり、前事業年度末に比べ274,933千円減少しました。これは主に、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少283,997千円によるものであります。固定資産は1,441,029千円となり、前事業年度末に比べ254,979千円増加しました。これは主に、レンタル用資産の増加86,377千円および建物の増加133,186千円によるものであります。

この結果、総資産は2,733,042千円となり、前事業年度末に比べ19,954千円減少しました。

#### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,475,076千円となり、前事業年度末に比べ142,776千円減少しまし

た。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が400,000千円減少したことによります。固定負債は965,340千円となり、前事業年度末に比べ384,682千円増加しました。これは、長期借入金が340,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,440,463千円となり、前事業年度末に比べ241,906千円増加しました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は292,578千円となり、前事業年度末に比べ261,860千円減少しました。これは主に、四半期純損失計上による利益剰余金の減少259,789千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は10.3%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、前回予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年5月15日）に公表いたしました「2026年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,092,622	808,624
売掛金	365,246	326,184
商品	18,344	37,564
貯蔵品	6,539	17,610
前払費用	48,134	77,212
関係会社短期貸付金	-	10,000
その他	45,954	23,777
貸倒引当金	△9,895	△8,961
流動資産合計	1,566,946	1,292,012
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	771,268	857,646
建物（純額）	152,218	285,405
機械装置（純額）	84,724	75,634
工具、器具及び備品（純額）	10,113	9,103
有形固定資産合計	1,018,324	1,227,788
無形固定資産		
ソフトウェア	191	-
無形固定資産合計	191	-
投資その他の資産		
関係会社株式	58,533	58,533
敷金	142,430	188,137
その他	31,000	31,000
貸倒引当金	△64,430	△64,430
投資その他の資産合計	167,533	213,240
固定資産合計	1,186,049	1,441,029
資産合計	2,752,996	2,733,042

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	164,775	190,887
短期借入金	572,500	815,998
1年内返済予定の長期借入金	400,000	-
未払金	181,884	153,652
未払費用	9,074	44,833
未払法人税等	530	397
前受金	240,925	242,002
預り金	25,380	16,083
契約負債	12,864	10,958
その他	9,918	264
流動負債合計	1,617,852	1,475,076
固定負債		
長期借入金	560,000	900,000
資産除去債務	20,704	65,387
固定負債合計	580,704	965,387
負債合計	2,198,557	2,440,463
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	56,280	56,908
資本剰余金	868,261	868,889
利益剰余金	△383,845	△643,635
株主資本合計	540,695	282,162
新株予約権	13,743	10,416
純資産合計	554,438	292,578
負債純資産合計	2,752,996	2,733,042

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,647,436	3,874,688
売上原価	1,880,534	2,129,910
売上総利益	1,766,901	1,744,777
販売費及び一般管理費	1,639,636	2,001,146
営業利益又は営業損失(△)	127,265	△256,369
営業外収益		
受取利息	638	1,516
雑収入	2,502	98
営業外収益合計	3,141	1,615
営業外費用		
支払利息	13,687	10,770
営業外費用合計	13,687	10,770
経常利益又は経常損失(△)	116,718	△265,524
特別利益		
新株予約権戻入益	-	6,365
特別利益合計	-	6,365
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	116,718	△259,159
法人税等	493	629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	116,225	△259,789

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当事業年度において、倉庫等の不動産賃貸契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、倉庫等の原状回復費用に関して見積りの変更を行っております。また、原状回復費用の見積り額が、賃貸借契約に関連する敷金の額を上回ることから、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた従来の簡便的な取り扱いによる処理から資産除去債務を負債計上する原則的な取り扱いに変更しております。これにより、資産除去債務は当会計年度期首より44,580千円増加しております。なお、当事業年度の損益に与える影響額は軽微であります。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

※ 当座貸越契約及び貸出コミットメント契約

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行（前事業年度は3行）と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	550,000千円	650,000千円
借入実行残高	350,000	650,000
差引額	200,000	-

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	391,570千円	558,429千円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。